

## 熊本地震現調査から学ぶ連続震度7でも倒壊しない耐設計とは？

なぜ築浅の木造住宅が倒壊したか？ 耐震等級2倒壊の衝撃！ 倒壊していない木造住宅との差は何か？

講師 佐藤 実 株式会社 M's構造設計 代表取締役社長

拝啓時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

想定外の震度7の連続地震により残念ながら多くの木造住宅が倒壊しました。

倒壊した住宅は日本建築学会の現地調査によれば、旧耐震基準の住宅が大半を占めるものの、1981年以降の新耐震基準の住宅も相当数に達し、また2000年以降の新・新耐震基準の木造住宅の倒壊も17棟が確認されております。

木造住宅業界において衝撃的なこの事実に対して、木構造を専門とする講師の佐藤実氏は発災直後から延べ6日に渡り自らの足で現地をくまなく歩き、実務者の視点で被害の調査と分析を行っておられます。長年にわたり木造住宅の耐震設計をテーマに“構造塾”という私塾を主宰して来られた同氏は、現地調査から得られた知見を実務者に提供すべく、既に全国各地で熊本地震緊急セミナーを計20回開催され、大変に社会的に意義あるセミナーとなっております。大規模地震が発生しても万全の備えとなるよう、木造住宅の耐震設計のあるべき姿について民間人ならではの視点で鋭く解説いただきます。ご参加を心よりお待ちしております。

### 【開催日時・場所】

11月25日（金） 14：45～17：00（受付開始14：00）

富士市交流プラザ 静岡県富士市富士町20番1号

### 【セミナー内容】

なぜ、木造住宅は倒壊したのか？倒壊していない住宅との差はなにか？

- ・古い建物の倒壊・築年数の浅い建物の倒壊・壁のバランスが悪い建物
- ・旧耐震基準のRC造、S造・地盤の被害・土地選びで人生が変わる・液状化被害
- ・構造計算された建物

【受講料】 受講料：¥1,000

※当日受付でお支払いになります。

【定員】 50名（先着順）

【申込方法】 申込書をフジ協事務局（FAX0545-35-3569）までFAXでお送りください。

お問い合わせ先：（一社）富士山木造住宅協会 事務局 [TEL0545-35-3003](tel:0545-35-3003)

『熊本地震現調査から学ぶ連続震度7でも倒壊しない耐設計とは?』

## 講習会申込書

送り先 FAX : 0545-35-3569

会社名			
参加者①			
参加者②			
住所			
TEL		FAX	

※定員になり次第、応募を締め切らせて頂きます。

※FAXはお間違えないようお願いいたします。

### 講師プロフィール

#### 佐藤実

株式会社 M's (エムズ) 構造設計代表取締役社長「構造塾」塾長

1968年生まれ、横浜市在住、一級建築士、構造設計一級建築士、

1990年東北工業大学卒業、(株)佐藤住建を経て、現在(株)M's 構造設計代表取締役。

2010年東京大学大学院修了。

2010年「構造塾」設立。構造計算に関する研修、セミナーを各地で開催／専門は木質構造建築物の構造設計・構造計算、地盤判定

著書最高に楽しい木構造入門

楽しくわかる！木構造入門